

三本柱
あいさつ
返 事
掃 除

六華

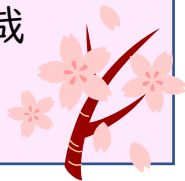
教育目標
「自ら学び広い心で
心身を鍛える生徒」

入学式（4月7日）

161名の新入生のみなさん、ようこそ東石山中学校へ

式 辞

校長 永井 一哉



例年になく桜の開花が早く、既に春の盛りを感じる本日、ご来賓を代表して石川博久PTA会長様のご臨席を賜り、また多くの保護者の皆様のご列席の下、令和五年度入学式を挙げてまいりますことを、まことに嬉しく思います。

ただいま、161名の新入生を迎え入れました。教職員、在校生を代表し、心から歓迎いたします。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、本日の我が子の晴れ姿を目の当たりにされ、感慨もまた一人のことと存じます。改めまして心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

昨年度までの3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた3年間でした。しかし、社会情勢が少しずつ変化し、これまでとは違う新たな生き方を求められる時代がやってきます。それは学校においても同様です。あきらめたり、我慢したりすることを当たり前とせず、新型コロナウイルス感染症との共存を図りながら、価値のあることをいかにしてやり遂げるか。この姿勢が求められる時代とも言えると思います。

このような時代に、中学校生活を始める新入生の皆さんに求めたい力があります。それは、「自分で決めて、自分で行動する」力です。望ましい行動を自分で考え、他に流されることなく自分の判断に基づいて行動できる。また、その一方で、異なる考えの者同士によって、多数決によらず全員の納得と合意を目指して答えを探ることができる。これまでの経験にしがみついても同じことを繰り返したり、すぐにあきらめたりするのではなく、可能性を探り、新たな取組を自分たちの力で創り出すことができる。これらのことが、時代が大きく変わるこれからをたくましく生きる皆さんに求められているのです。

東石山中学校は、生徒の自主性・主体性によって、生徒自身の手で学校を創り上げることを目指している学校です。そして皆さんは、今日からこの東石山中学校を創り上げる一員となるのです。皆さん自身が理想の学校像を描き、その達成に向けて自主的・主体的に取り組むことを期待しています。

物事を成そうとする取組や自分たちを高めようとする取組は、未経験なことへの挑戦でもありません。当然、そこに失敗や間違いはつきものです。しかし、失敗を次に生かそうと粘り強くチャレンジを続ける限り、それは成功や達成に向けた通過点であり、決して失敗ではありません。あきらめて、歩みを止めたときに、失敗となるのです。

挑戦する姿勢を持ち続けるために大事なことは、自分や自分たちの「目指す姿」をしっかりと意識することです。この「目指す姿」は、他の誰かが決めるのではなく、自身の責任において決定するものです。そして、達成に向けてどのように取り組むかも、自身において決定するものです。うまくいかなかったとしても、誰かのせいにすることはできません。自分の力で、自分たちの力で問題解決を目指さなければなりません。そこには大きな困難が伴います。しかし、その困難の先にこそ、達成感があり、成長があります。それを目指して、精一杯頑張っていきましょう。

そのため、私たち教職員は、皆さんが失敗しないための安易な「転ばぬ先の杖」を持たせません。横道にそれないための、がちがちのルールを敷きません。「目指す姿」の達成に向けて、失敗を自らの力で克服して前に進めるよう、必要な支援を惜しまずに行います。そして、よりよい東石山中学校を、新入生を含む全校生徒の皆さんとともに創っていきたいと思います。

保護者の皆様、本日からお子様を卒業まで、本校でお預かりすることになりました。この東石山中学校の学舎の中でお子様が大きく成長し、卒業の時にはそれぞれの決意を胸に、義務教育を修了できるよう、教職員一同、教育活動に誠心誠意取り組んで参ります。

中学校時代は、子どもたちがやがて責任ある大人になるために自立していく重要な過程であり、成長と変化が著しいときです。保護者の皆様におかれましては、お子様の努力の様子を常に温かく見守り、お子様の自立に向けてお支えくださいますようお願いいたします。

また、これからの時代は学校と地域との連携・協働が強く求められる時代です。「地域とともにある学校」として、地域としっかりと手を携え、子どもを真ん中に置きながら、真摯に教育活動に邁進する所存です。どうぞ、力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新入生の皆さんがこれからの学校生活の中で、互いに認め合い、支え合い、高め合いながら、たくましく成長してくれることを大いに楽しみにして、式辞といたします。



入学式での呼名の様子（左）と入場の様子（右）

入学の喜び

新入生代表



春の息吹が感じられる今日、私たちは東石山中学校に入学いたします。本日は私たちのために、このような盛大な式を挙げていただき誠にありがとうございます。新入生を代表してお礼申し上げます。

中学校では、人の意見に頼らず、自分の意志で物事を決めていきたいと思っています。今までは友達と相談して決めることが多くありました。そのため、あとで、ああすれば良かったと後悔することもありました。だから中学校ではこの行動を改めて見直し、勉強や部活動などに自分の意志を大切にしていって、悔いの無いように過ごしたいです。勉強はもちろん、部活動や行事など何事も積極的に、精一杯頑張っていきます。先輩方の背中を見ながら成長していきたいです。

東石山中学校の一員として、責任ある行動を心がけていきます。校長先生をはじめ先生方、先輩方、どうか暖かいご指導をよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

始業式・着任式（4月7日）

生徒代表新学期の抱負

2年生代表

私の今年度頑張りたいことは、2つあります。1つ目は、勉強です。私は4回の定期テストを経験しました。毎回目標を設定していましたが、その目標を達成することがあまりできず、とても悔しい思いをしました。そのため、これからのテストでは、効果のある勉強をしたり、勉強をする時間を十分に確保して、自分の目標を達成できるようにしたいです。

2つ目は、最後まで自分の役割を果たすことです。私は1年生の時、学年委員や合唱発表会実行委員などをしました。今は生徒会の一員として活動をしました。今は生徒会の一員として活動をしています。

1年生の間で、学年レクリエーションの運営の大変さを学んだり、生徒会の先輩方の迅速な対応や計画決めなどを近くで見たりと、たくさんの経験をさせていただきました。それを生かして、2年生でも頑張っていきたいです。



3年生代表

あっという間に2年間の過ぎ、気付けば中学校の最高学年、また、受験生になってしまいました。そこで、私は2つの目標を立ててこの1年を過ごしていきたいと考えています。1つ目は「無駄な時間をなくす」といった目標です。私は家で勉強しているときにボーっとしてしまったり、勉強の休憩中にスマホを見ていると、気が付いたらすごく時間が経っていたりすることがありました。ですので、より多くの勉強時間を確保したり、時間に余裕をもって行動するためにも、やるべきことを紙に書き出したり、かけはしタイムの時に「家庭学習の予定」の欄をしっかりと書き、その日にやるべきことを把握し、行動できる自分で在りたいです。また私の場合は、危機感をもつことで行動力が高まるので意識していきたいと思います。2つ目は「部活動を今以上に本気です」という目標です。私はバドミントン部に所属しています。3年生となり、いよいよあと数か月で引退となってしまいます。最後にできるだけ長く仲間とバドミントンをするためにも、新しく入ってくる後輩のお手本となるためにも、常に本気でしたいと考えました。そのために、準備を早くしたり、先生方や仲間からのアドバイスを1回1回意識して練習したりして、大会で良い成績をおさめたいです。

このように、私は2つの目標を立ててそれに向けて行動し、悔いのない充実した1年を過ごしたいです。



転入職員紹介

永井 一哉 (ながい かずや)	大形中学校より
今井 貞 (いまい さだ)	葛塚中学校より
齋藤 一男 (さいとう かずお)	大形中学校より
西原 幸子 (にしはら さちこ)	小針中学校より
木下 恵一 (きのした けいいち)	木戸中学校より
菊地 亮平 (きくち りょうへい)	早通中学校より
山田 勇斗 (やまだ ゆうと)	新採用
柳 正 (やなぎ ただし)	新津第一中学校より
山田健太郎 (やまだ けんたろう)	採用
上野 雅 (うえの みやび)	巻西中学校より
山崎奈津子 (やまざき なつこ)	山潟小学校
新保千香子 (しんぼ ちかこ)	中央図書館
山田 清 (やまだ きよし)	採用



よろしくお願ひします



着任式での
転入職員の
様子